



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 七井 真人

## ■宇都宮東警察署長へ陳情書提出

9月7日に小川会長、西東交通防犯部会長及び事務局長七井は、清原工業団地総合管理協会の代表者とともに宇都宮東警察署長に次の交通渋滞対策（2路線）に関する陳情書を提出しました。

### （1）道場宿交差点信号機の時間調整について

芳賀工業団地周辺の交通渋滞は、かしの森交差点信号機の時間調整や時差通勤などの各種対策により、昨年比に大幅に緩和されました。

しかし、朝7時から8時の時間帯は道場宿交差点を先頭に、国道4号線バイパス方面まで東進する車両が渋滞しています。

そこで、清原工業団地総合管理協会理事長と芳工連会長の連名で道場宿交差点信号機の時間調整について陳情しました。

県県土整備部が平成26年2月19日実施した交通量調査では、朝7時から8時の時間帯に鬼怒通り6,358台に対し、国道408号線は1,407台で、それぞれの通行量の割合は82%と18%になっています。

このように、鬼怒通りの通行量が圧倒的に多いことから、交通渋滞の解消に向けては交差点信号機の時間調整が必要である旨の陳情をしました。



### （2）宇都宮テクノ街道交差点信号機の時間調整について

平成20年3月に開通したテクノ街道ですが、板戸大橋右岸にある4交差点の信号機は感應式であることから、南北道路から進入する車両に反応しテクノ街道の信号が赤となり、東進する車両は大渋滞しています。

7月16日の7時30分～8時30分までの時間帯に(株)本田技術研究所が実施した現地調査では、鬼怒川から右岸側3番目と4番目の交差点間は距離にして300mですが、通過時間は32分を要する状況でした。

そこで、関係するこれらの4交差点の信号機時間調整により、交通渋滞の解消が図られるよう陳情しました。



## ■ 安全衛生部会

### (1) 危険予知訓練研修会コーディネーター打合せ

危険予知訓練研修会に向けて 10 名のコーディネーターによる準備会議を 9 月 11 日に管理センター会議室で開催しました。

職場への KYT 導入による災害「ゼロ」をめざして、昨年度初めて危険予知訓練研修会を実施しました。

ある会員企業では、昨年度の研修会に参加された社員の呼びかけで、「事業所で指さし呼称を実践し、危険に対して感受性を鋭くし、災害につながるヒューマンエラーを防止することができた。」或いは、「不良品を減らすことができた。」など研修の効果が発揮されている、との報告がありました。

今年度の危険予知訓練研修会 (KYT) は、11 月 13 日 (金) に開催する予定で準備を進めています。改めて研修のご案内を差し上げますので、多くの皆さまに参加いただきたいと思います。



### (2) 普通救急講習会を開催

平成 27 年 9 月 15 日 午前 9 時から管理センターで開催した第 3 回普通救命講習会に 13 社 23 名の参加がありました。今回も消防芳賀分署の救急救命士の皆様によるご協力で講習会を開催することができました。

安全衛生部会稲森部会長は、いつ、どこで、ケガや病気におそわれるかわかりませんので、応急手当の知識や救命措置の方法を学ぶことは重要です。本日はせっかくの機会ですので確りと受講されるようお願いいたします、と挨拶しました。

受講者は、DVD 視聴によって応急手当の目的や必要性を学んだあと、胸骨圧迫、気道確保、人工呼吸などの基本的な心肺蘇生法について、人形を使用して練習を行いました。

また、AED トレーニングキッドを使った実技訓練では、大きな声で真剣に練習し、覚えようとする本気度が伝わりました。

救命措置の心構えと措置方法を習得できた受講者に普通救命講習修了証が交付されました。

救命措置の技能維持のためには 2 年から 3 年ごとに再受講することが推奨されていますので、既に受講された方も再度お申し込みください。



## ■ 交通防犯部会

### (1) 交通安全啓発横断幕・のぼり旗設置

秋の交通安全運動が 9 月 21 日 (月) から 9 月 30 日 (水) までの 10 日間にわたり全国一斉に



実施されることから、9月24日午前10時から芳工連の交通防犯部会メンバー12名は管理センター前交差点及び芳賀台交差点の2カ所に交通安全啓発の横断幕及びのぼり旗を設置しました。

芳工連では、交通事故撲滅の推進を重要な事業の一つとして位置づけていることから、参加されたメンバーは効果を願いながら手際よく設置しました。



## (2) 第2回部会を開催

9月24日 管理センター会議室で横断幕・のぼり旗設置作業に引き続き午前11時から第2回部会を開催しました。

西東部会長は、交通安全運動がマンネリ化しているので社用車へのマグネット貼付けやバスのエプロン掲示などによる交通安全啓発を今年度は取り組んでみた。今後もアイデアを出して推進効果を高めたい、と挨拶しました。

協議事項は、①県県土整備部長及び関係土木事務所長への陳情内容、②秋の交通安全県民総ぐるみ運動スケジュール、③安全運転講習会についてなどです。



## ■ 総務企画部会

### 第33回ボウリング大会を開催

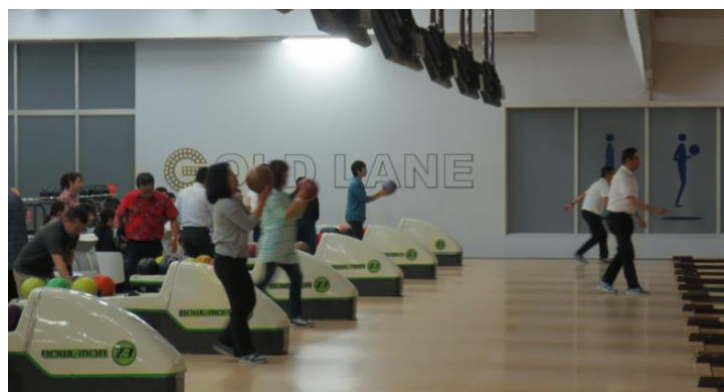
9月16日 宇都宮ゴールドレーンを会場として14社64名の参加により、総務企画部会主催の第33回ボウリング大会を開催しました。

今回も会員企業から多くの皆さまの参加をいただき、午後7時30分のスタートと同時に場内は大きな歓声に包まれました。

ストライクでひと際大きな歓声が沸き、ハイタッチでチームが一層盛り上がり、満面の笑顔が溢れていました。

和やかな気分が周囲にあられ、若者ばかりでなく管理職の方々も華麗なポーズで高得点を出していました。

優勝は(株)オートテックジャパン様(右写真)、2位は(株)日高精機様、3位はサンクレール



(株)・AGC オートモーティブウインドウシステムズ(株)様・(株)日高精機様の混成チームでした。

表彰式で総務企画部会中山部会長は、回ごとに参加者が増えて嬉しい限りです。是非もっと多くの参加をいただき、会場を貸し切りで開催できるよう願っている、と挨拶しました。

今回も、ホンダエンジニアリング(株)様、(株)サンクレール様、AGC オートモーティブウインドウシステムズ(株)様、(株)オートテックジャパン様、(株)協永堂印刷様、(株)ホンダテクノフォート様、日本梱包運輸倉庫(株)様、ホンダ開発(株)様、(株)ベストロジ栃木様、本田技研工業(株)様、(株)栗崎歯車製作所様、三菱 UFJ 信託銀行様から豪華賞品のご提供がありました。有難うございました。

## ■ 全国労働衛生週間説明会開催

「職場発！心と体の健康チェック はじまる 広がる 健康職場」をスローガンに 10 月 1 日から 7 日まで全国労働衛生週間が実施されることから、9 月 10 日 真岡市青年女性会館において真岡労働基準監督署管内の事業場を対象とした説明会が開催されました。

司会進行は、ジェーピーエス製薬(株)栃木工場の鎌上章部長代理が務めました。主催者挨拶で、一般社団法人真岡労働基準協会会長（日産自動車株式会社栃木工場）代理の田中様は、業務上の疾病者数が長期的には減少しているが十分ではない。昨年度は一昨年度より疾病者数が増加した。精神障害の労災支給決定件数は過去最高となった。メンタルヘルスを始めとする過重労働に対する取組みは重要な課題となっている。

そのような背景を踏まえ、改正労働安全衛生法ではストレスチェック制度導入と化学物質の適用拡大が盛り込まれた。また、職場における受動喫煙防止にも企業として取り組み、未然防止活動の充実が求められてきた。健康な心と体、事業所における労働衛生管理活動の一層の拡大をお願いしたい、と述べました。

真岡労働基準監督署 渡邊労災・安衛課長からの説明概要は次のようなことでした。改正労働安全衛生法により事業者は労働者のストレスチェックと面接指導の実施等を義務付ける制度が創設（労働者数50人未満の事業場は当分の間は努力義務）された。

基本的な考え方は、労働者のメンタルヘルス不調を未然に防止する一次予防を目的としたものであり、事業者は各事業所の実態に即して実施される二次予防（早期発見）及び三次予防（社会復帰）を含めた労働者のメンタルヘルスケアの総合的取組みの中に本制度を位置付け、取組みを継続的かつ計画的に進めるものです。

ストレスチェック調査票は、労働衛生のしおりに掲載された「職業性ストレス簡易調査票」を使用することが望ましいとのことでした。

特別講演では「受動喫煙防止について」と題する労働衛生コンサルタントの吉澤章氏による講演





がありました。その概要は次のような内容です。

改正された労働安全衛生法により、平成27年6月1日から職場の「受動喫煙防止対策」が事業者の努力義務となった。

受動喫煙とは、室内と室内に準ずる環境において、他人の煙草の煙を吸わせることです。今回の改正法により労働者の健康の保持増進のため、職場の受動喫煙防止対策が必要となった。対象は資本金や常時雇用する労働者数に関わらず全ての事業者が対象である。

法第68条の2で、事業者は「事業者及び事業場の実情に応じて適切な措置」をとるよう努めることとしています。具体的な対策に係る施設設備（ハード面）及び計画や教育などの「ソフト面」で、厚労省の受動喫煙防止対策助成金制度を活用することができる。

受動喫煙については、歯周病や慢性閉塞性肺疾患（COPD）のリスク増大が分かっています。世界の死因（2012年）で1位は心疾患、2位は脳卒中、3位が慢性閉塞性肺疾患（COPD）である。因みに4位は肺炎、5位は肺がんとなっている。

特別講演の二つ目は、「健康長寿とちぎづくりについて」と題する県東健康福祉センター健康対策課齋藤保子保健師による講演でした。

栃木県の各種データから栃木県民の健康を取り巻く課題を見てみると、平均寿命は男性79.09年（全国第38位）、女性85.66年（全国第46位）で低い位置にある。喫煙者割合は男性35.8%（全国ワースト14位）で、県東地域は特に喫煙率が高い。特定健康診査実施目標は70%以上であるが42.5%（全国第31位）と低い。

そこで、栃木県は「健康づくり推進に関する条例」を制定し、健康づくり県民運動を展開することで、とちぎの目指す健康づくり支援の新たな展開を図っている。

重点プロジェクト事業である「栃木県脳卒中啓発プロジェクト」で、男性がワースト4位、女性がワースト2位にある栃木県の脳卒中について、適切な対応方法に関する知識の普及を行い、脳卒中による死亡者数の減少を目指す。

## ■ 総務企画・交通防犯部会情報交換会

9月4日に総務企画部会と交通防犯部会の情報交換会を宇都宮市内で開催しました。

初参加のメンバーを含め19名の参加がありました。中山総務企画部会長と西東交通防犯部会長からユニークなご挨拶があり、和やかで楽しい情報交換会が始まりました。

自己紹介で会社の実情や個人のトピックスなど様々なテーマで語っていただき、談笑が絶えない楽しい一時を共有できました。

芳工連の部会活動で御一緒するメンバー同士ですが、会議や行事に追われ、親しい会話を交わすことはできませんでしたが、今回は、総務企画と交通防犯両部会の情報交換会で、初対面のメンバーもいることから名刺を交換し、じっくりと会話を楽しむことができました。

また、適量のアルコールの助けもあって、話題が尽きることなく時間が経過しました。これからの芳工連の事業活動に大いに役立つ情報交換会となりました。



## ■ お知らせコーナー

### (1) ゴルフ大会参加者募集・賞品提供のお願い

芳賀町ゴルフ連盟主催による第35回芳賀町民チャリティーが次のとおり開催されます。

芳工連会員企業の皆さまにも参加いただきたいと思います。

参加希望者は10月26日(月)までに芳工連事務局七井(677-5033)宛ご連絡ください。

- 期 日：11月26日(木)
- 場 所：ロイヤルメドウゴルフスタジアム
- 参加費：2,500円(チャリティー代500円)
- プレー費：6,300円(食事、パーティー費用含)

※ 主催者から賞品提供の依頼がありますので、ご協力いただける企業様は10月26日(月)までに芳工連事務局七井までご連絡ください。

### (2) 県産業労働観光部長との意見交換会開催

芳賀工業団地の実情を栃木県産業振興部局担当者にご理解いただくとともに、芳賀工業団地の安全・安心の向上を目的として、下記のとおり意見交換会を開催します。

是非、多くの会員企業の皆さまにご参加いただきたいと思います。

- 日 時：11月6日(金) 午後2時30分
- 場 所：芳賀町工業団地管理センター大会議室
- 内 容：会員企業から提出する質問・要望への回答
- 参加者：希望する芳工連会員企業
- 参加申込：10月16日(金)までに事務局へ連絡

### 芳工連日誌

#### 【9月の実績】

- 1日 町民祭開催担当者会議
- 4日 総務企画・交通防犯部会合同情報交換会
- 9日 宇都宮東警察署長への陳情
- 10日 全国労働衛生週間説明会
- 11日 危険予知訓練研修会コーディネーター打合せ
- 15日 普通救命講習会
- 16日 第33回ボウリング大会
- 16日 資源ごみ回収日
- 21日~30日 秋の交通安全運動
- 24日 交通防犯部会第2回部会  
交通安全のぼり旗設置

#### 【10月の予定】

- 1日 とちぎの道現場検証
- 1日 のぼり旗撤去
- 6日 栃木地方産業安全衛生大会
- 6日 真岡地区暴力団追放決起大会
- 7日 芳工連第2回役員会
- 14日 栃木県県土整備部長陳情
- 14日 若手研修会
- 21日 安全運転(動画KYT)研修会
- 22日 クリーン作戦
- 23日 第2回総務企画部会
- 23日 第2回安全衛生部会
- 28日~30日 全国産業安全衛生大会
- 28日 資源ごみ回収日